

令和5年11月30日

ふくしまサステナブルおもてなし宣言 ～持続可能な観光地づくりを目指して～

福島市は、令和3年2月、2050年度に温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言し、同年5月には、「SDGs 未来都市」に選定されました。

観光分野においては、ゼロカーボンを含むSDGsに関する取組みの実施を宣言した観光事業者について、紹介・情報発信する事業を開始し、持続可能な観光地づくりを目指して参ります。

- 1 事業の内容：SDGsに関する取組みの実施を宣言した観光事業者(企業・団体等)に、「宣言書」を交付いたします。また、市ウェブサイトを取組み事業を紹介します。

【掲載内容】

- ① 事業者情報
- ② 取組み内容
- ③ 事業者ウェブサイトへのリンク 等

- 2 応募方法：「ふくしまサステナブルおもてなし宣言実施報告書」を
観光交流推進室 温泉地振興係 あて提出(メール、郵送可)
メールアドレス：kankou@mail.city.fukushima.fukushima.jp
※手続きは市HP参照願います。

- 3 応募条件：下記2点を満たす事業者が対象となります。
- ① 福島市内に事業所又は支店を有している観光関連の事業活動をしている企業・団体
 - ② 「実・湧・満・彩」の各項目に一つ以上取組んでいること

テーマ	取組内容	具体例
実	プラスチックごみの削減に関する取組み	観光客へのマイバック利用の推奨、バスアメニティのミニボトル廃止、客室でのペットボトル入りミネラルウォーターの廃止等
湧	カーボンニュートラル 自然・再生可能エネルギーの利用に関する取組み	太陽光発電の設置、温泉排水を活用した床暖房、設備の省エネルギー化、ヒートポンプの導入 等
満	食品ロスの削減に関する取組み	地産地消、食事が選べる宿泊プランの造成、健康に配慮した食事メニューの開発 等
彩	独自の取組み	子育てにやさしい取組み、バリアフリー、LGBTQ への配慮、品質認証制度「桜クオリティ」の活用等 その他SDGsの取組み

- 4 募集開始日：令和5年12月1日(金)～

担当：観光交流推進室
室次長 守山、温泉地振興係長 丹治
電話 024-572-5717(直通)

ゼロカーボンに資する取り組みのほか、環境保全、SDGsに資する事業が対象となります。

※具体例はあくまでも一例です。記載以外の事業もご相談ください。



プラスチックゴミの削減

【具体例】

- ・観光客へのマイバック利用の推奨
- ・バスアメニティのミニボトル廃止
- ・客室でのペットボトル入りミネラルウォーターの廃止



カーボンニュートラル 自然・再生可能エネルギーの利用

【具体例】

- ・太陽光発電の設置
- ・温泉排水を活用した床暖房
- ・設備の省エネルギー化
- ・ヒートポンプの導入



食品ロスの削減

【具体例】

- ・地産地消
- ・食事の量が選べる宿泊プラン造成
- ・健康に配慮した食事メニューの開発



独自の取り組み

【具体例】

- ・子育て世代にやさしい
- ・バリアフリー
- ・LGBTQへの配慮
- ・品質認証制度「サクラクオリティ」の活用

【事業概要】

ゼロカーボンに資する取組みを行っている事業者に対し、「ふくしまサステナブルおもてなし宣言書」を配布し、脱炭素化の取組を広く情報発信することで付加価値を高めます。

1. 対象者：福島市内で観光関連の事業活動を行っている企業・団体等
2. 応募条件：「実・湧・満・彩」の各項目に一つ以上取り組んでいること
3. その他
 - ・市HP等で事業者の取り組みを紹介
 - ・補助金等の有効活用

宣言書イメージ



申請から宣言までの流れ

SDGs未来都市 福島市

